

都市再生整備計画 (第3回変更)

新高岡駅 (仮称) 周辺地区

富山県 高岡市

平成21年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	たかおかし 高岡市	地区名	しんたかおかえきしゅうへんちく 新高岡駅(仮称)周辺地区	面積	520 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標
 大目標 新たな時代に向けた県西部地域並びに飛騨 能登地域のふれあいと交流のまちづくり
 目標 1 県西部地域並びに飛騨 能登への新たな玄関口を活用し、広域アクセス機能(広域交流)の強化を図る
 目標 2 地域の新たな顔にふさわしいふれあいと交流の拠点づくり
 目標 3 国宝瑞龍寺などの歴史・文化資産を活用し中心市街地へ人の流れをつくる

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 (現況)
 本地区内の南側には、北陸自動車道小杉ICや能越自動車道高岡ICを結び地域高規格道路高岡環状線が東西に走っている。
 本地区内の北側には、JR高岡駅が位置しており、その以北は、高岡市の中心市街地が広がり、その以南は土地区画整理事業により基盤整備が完了している。
 本地区内の中央部には、平成26年度開業の新高岡駅(仮称)が位置しており、その以南は、市街化調整区域に指定され、農業用地が広がる。
 また、地区内には、加賀藩二代藩主である前田利長の菩提寺である国宝瑞龍寺や、前田利長墓所など優れた近世文化遺産や、産業コンベンションセンター(テクノドーム)、レジャー施設(スポーツコア)、総合公園(おとぎの森公園)、大型ショッピングセンター(イオンショッピングセンター)が分布している。
 本地区中央部には南砺 砺波 高岡市南部地域と高岡市中心部を結び公共交通機関であるJR城端線が走り、地域住民の重要な交通手段として機能している。しかしながら、近年はモータリゼーションの進行や学生人口の減少などにより、利用者数の減少が続いている。そのため、沿線市、鉄道事業者で城端 水見線活性化推進協議会を設け、イベント事業、観光宣伝等に取り組み、利用の促進などを行っている。また、北陸新幹線が開業の際は、新高岡駅(仮称)に隣接して新駅を設置する予定であり、新高岡駅(仮称)と高岡駅とを結び重要な役割を果たすこととなる。
 (まちづくりの経緯)
 新高岡駅(仮称)並びにその周辺地区は、県西部唯一の駅として県西部地域のみならず飛騨、能登地域への玄関口として、交通結節機能をはじめとした都市機能集積が求められている。
 一方で、現高岡駅周辺は、これまで本市の中心市街地として多様な機能集積を図ってきたが、近年では空き店舗の増加等による空洞化が進んでいる状況である。
 今後、北陸新幹線の開業や、東海北陸自動車道や能越自動車道の整備により、人やモノの広域交流が飛躍的に進むことが考えられることから、この交流を活かしたまちづくりが重要である。
 このため本地区においては、広域アクセス並びに広域交流を強化し、特に新高岡駅(仮称)周辺における交通結節機能の強化や観光客へのインフォーマーメーション機能等の導入を図るとともに、テクノドームやスポーツコア等の既存交流施設等を活用し、ふれあいと交流を促進させるまちづくりを進めることとしている。
 なお、JR高岡駅周辺は、新駅との役割分担を明確にしなが、通勤・通学者のための交通ターミナル機能や中心市街地としての商業、業務機能等を維持していくこととしている。
 また、本地区への来訪者を現高岡駅周辺へ促すことにより、現高岡駅周辺の中心市街地における、歴史、文化を継承した街並みや経済活動基盤、これまで多くの社会資本を投資してきたことによる既存ストックの有効活用による「まちなか交流人口の拡大」を図り、活性化を進めることとしている。
 その手段の一つとして、本地区と現高岡駅とを結びJR城端線について、これまで城端 水見線活性化推進協議会などにおいて進めてきた事業や、駅周辺施設の整備事業により、利便性を向上させることで、利用者の増加を図ることとしている。
 その際、国宝瑞龍寺や前田利長墓所などの歴史・文化資産を活用するとともに、JR城端線の利用促進を図り、最寄り駅の利用者の増加や観光客の誘導など、人の流れを作ることで、将来、北陸新幹線が開業した際には、高岡駅と新高岡駅(仮称)両駅周辺の一体的、有機的に連携したまちづくりを進めることとしている。

課題
 平成26年度の北陸新幹線開業や東海北陸自動車道の全線開通、能越自動車道の更なる延伸を活かした広域交流の推進
 広域的な交流拠点として、既存の交流施設等の有効活用
 中心市街地活性化のためのまちなかにおける交流人口の拡大、観光資源を活用したまちなかの回遊性の創出
 地域の公共交通機関であるJR城端線の活性化による高岡市南部 新高岡駅(仮称)周辺 高岡市中心部の交流促進、最寄り駅 観光交流施設相互の人の流れの創出

将来ビジョン(中長期)
 高岡市総合計画基本構想(平成19年6月)では、高岡市の重点課題を「交流の時代のまちづくり」とし、まちづくりの目標として、下記を掲げている。
 飛越能86万人のふれあいと交流のまち、水 緑につつまれ安心して暮らせるやすらぎのまち、心豊かな人をはぐくむ 万葉と前田家ゆかりの歴史と文化をたのしむまち、ものづくりの技と情熱がつくり出すにぎわいのまち、みんなで考え みんなでつくる みんなのまち
 高岡市都市計画マスタープラン(平成17年3月)では、計画区域を含む市中部地域の地域づくりのテーマを「高速交通体系を活かし、にぎわいと伝統が調和したまちづくり」と位置づけ、下記の目標を掲げている。
 交通結節機能を活かした地域づくり、道路ネットワークの形成と強化を図る地域づくり、活力とにぎわいのある地域づくり、歴史 伝統的な街並みを活かした地域づくり
 都市整備ビジョン(平成12年)では、計画区域を含む新高岡駅(仮称)周辺ゾーンの整備方針として、下記を位置づけている。
 交流拠点づくり(広域交流機能の強化)、商業・業務拠点づくり(都市型産業の集積、流通系各施設の導入、新駅近接の商業業務用地の確保)、生活拠点づくり(新しいライフスタイルに対応する居住の場づくり)、観光拠点づくり(広域観光機能の強化)、交通ネットワークづくり(新高岡駅(仮称)周辺整備と交通結節性の強化、新高岡駅(仮称)のアクセス強化を図る幹線道路整備)
 北陸新幹線新高岡駅(仮称)周辺まちづくり計画(平成19年4月)では、計画区域内の新高岡駅(仮称)周辺のまちづくりの目標として「新たな時代に向けた県西部地域並びに飛騨 能登地域のにぎわいと交流拠点づくり」を位置付けている。
 高岡市中心市街地活性化計画では、「歴史・文化資産の活用による街中交流の拡大」「まちなか居住の推進」「中心商店街の魅力向上と賑わいの創出の推進」を掲げている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. エリア内主要施設の利用者数	人	エリア内にある、公共施設(スポーツコア、おとぎの森)の利用者数	アクセス道路網の整備等による交流のまちづくりの結果、交流人口が増加することを、エリア内主要施設であるスポーツコア おとぎの森の利用者数で評価する。	714,000	H18	730,000	H24
2. 瑞龍寺の来訪者数	人	瑞龍寺の来訪者数	国宝である瑞龍寺は、エリア内における主要な観光地であり、また、新幹線新駅とJR高岡駅の中間にあるため、エリア内のにぎわいや市街地への人の流れを形成するうえで、重要な拠点であることから、瑞龍寺の来訪者数で評価する。	165千人	H18	199千人	H24
3. 下関京田線の歩行者数	人	下関京田線の歩行者数	アクセス道路網の整備等により、新高岡駅(仮称)周辺地区から中心市街地への人の流れの形成を、両地区を繋ぐ主要幹線である下関京田線の歩行者数で評価する。	1,411	H18	1,600	H24

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 新高岡駅(仮称)周辺における交通ネットワークの充実と「流れあい」と「交流」の拠点整備 広域交通アクセス機能の強化として、高速自動車道と新駅へ連絡する幹線道路の整備を図る。 北陸新幹線新駅と繋がる広域アクセス機能を強化させるため、外環状道路を構成し、高岡インターチェンジ周辺と繋がる下伏間江福田線を4車線に拡幅整備する。</p> <p>新駅周辺における交通結節機能の強化を図る。 新駅における交通結節機能の強化を図るため、新駅駅前広場、新幹線新駅南北歩行者通路、パークアンドライド駐車場を整備する。 ・また、利便性が高く機能的なまちづくりを進めるため、公共交通機関への乗換え利便性などが良い、交通結節性が高くコンパクトで機能的な駅周辺整備を行うこととしており、そのため、用水路を移設・暗渠化する。</p> <p>新駅並びに地区内の交流施設(おとぎの森、スポーツコア、テクトーム等)間のアクセスを補完する道路の整備を図る。 ・新幹線新駅が新たに整備されることにより、周辺の道路においても交通需要が増大することが想定されることから、下黒田9号線を整備するとともに、交流等を促す主要な施設であるスポーツコアや、おとぎの森公園、イオン、テクトーム等の連絡強化を図るため、新駅南通り線、下黒田線、下関京田二塚線、下黒田下島線、下黒田13号線、下黒田16号線、せせらぎ緑道を新たに整備する。</p>	<p>【区幹事業】 道路(新駅南通り線整備)、道路(下黒田線整備)、道路(下関京田二塚線整備)、道路(下伏間江福田線整備)、道路(下黒田13号線整備)、道路(下黒田下島線整備)、道路(南北歩行者通路)、道路(下黒田16号線整備) 公園(やすらぎ親水公園)、公園(せせらぎ緑道) 地域生活基盤施設(市営駐車場整備、施設案内板整備) 高質空間形成施設(バリアフリー対応公衆トイレ整備(戸出駅前))</p> <p>【提案事業】 用水路移設事業</p> <p>【関連事業】 城端・水見線活性化推進事業</p>
<p>整備方針2 安心・安全でやすらぎのある空間形成 ー バリアフリー化による安全、快適な歩行空間を創出する。 ・北陸新幹線新駅と現高岡駅間の観光資源を活用し来訪者を中心市街地へ誘導する仕掛け作りとして、開町京田線(瑞龍寺参道)や南部112号線のバリアフリー化や緑化等の整備を行い安全、快適な歩行空間を創出する。</p> <p>来訪者にやすらぎをあたえ、快適な憩いの空間を形成するため、潤いある環境空間を確保する。 ・来訪者にやすらぎをあたえ、快適な憩いの空間を確保するため、既存の用水を利用した親水的な公園、緑道を整備する。</p> <p>県西部並びに飛騨、能登への新たな玄関口の整備に伴い、安心、安全な都市基盤の整備を図る。 ・県西部並びに飛騨、能登への新たな玄関口として、安心・安全な都市基盤を形成するうえで、今後、都市基盤施設の整備に伴い発生する雨水排水を効率よく処理するため、主要なエリア内の排水施設を整備する。 ・また、新高岡駅(仮称)の設置に伴う人口流動量や交通量の増大が予想されることから、防災機能の強化として、災害時の避難等にも供することが可能な防災広場の整備を行う。また、防災広場への誘導路として、南部31号線の整備をおこなう。 ・また、新幹線整備に伴う支障物件の移転先となる下黒田地内の居住環境整備として、下黒田9号線・下黒田12号線・下黒田10号線を整備する。 ・エリア内における、歩行空間の安全性を高めるため、通学路を中心に安全性向上のための施設整備を実施する。</p>	<p>【区幹事業】 道路(南部31号線整備)、道路(開町京田線(瑞龍寺参道)整備)、道路(南部112号線整備)、道路(下黒田9号線整備)、道路(下黒田12号線整備)、道路(下黒田10号線整備) 公園(やすらぎ親水公園)、公園(せせらぎ緑道) 地域生活基盤施設(防災広場整備) 下水道(用悪水路整備)</p> <p>【提案事業】 通学路安全確保事業</p>
<p>整備方針3 歴史・文化資産等を保存・活用し中心市街地への人の流れの創出 中心市街地の魅力映し出すスクリーンとして、高岡にしかないもの、歴史・文化資産の情報を伝え、観光客等来訪者の誘導を図る ・新たな玄関口となる北陸新幹線新駅周辺において、中心市街地の、「ものづくり」や「歴史文化」をアピールすることで中心市街地への人の流れをつくる。このため、デザイン集約性の高い産業、技術集積を基礎とするニュービジネスの育成拠点として創業段階の支援を行ったり、デザイン、技術、商品に係る企画展示及び商品等の展示即売を積極的に行っていく ・高岡テクトームの機能を活かした高岡メッセ事業等を行い、ものづくりの技術の交流を促す。 ・また、開町400年を機に高岡のまちの歴史・文化について学べる歴史と出会い事業をエリア内の文化遺産である瑞龍寺を活用して行い、高岡の魅力の再発見を図ることで、来訪者の人の流れを創出する。</p> <p>歴史・文化資産の保存を図る。 ・また、「歴史文化」の面からは、前田利長墓所水濺浄化といった文化遺産の保全事業を行い、後世にも文化財として伝えられるものとして整備するとともに、文化遺産を活用した「歴史と出会い事業」により、来訪者の人の流れを創出する。</p> <p>広域的な玄関口として、瑞龍寺や八丁道を活用しながら、中心市街地へと人・モノ・文化の流れをつくる。 ・中心市街地への人・モノ・文化の流れをつくる観点から、東海北陸自動車道・能越自動車道等の広域的交通網の強化を図るため、下伏間江福田線や下黒田下島線を拡幅するとともに、北陸新幹線新駅から瑞龍寺、高岡駅への参道のバリアフリー化や緑化を行うことで、人の流れを創出する。 ・また、新幹線新駅北側からの歩行者の動線を確保し、将来的に中心市街地とを繋ぐ路線のバイパス機能を果たすこととなる市道南部112号線を拡幅する。</p> <p>地域公共交通機関である、城端線の活性化を図り、中心市街地と本地区相互の人の流れをつくる。 ・本地区を縦断するJR城端線については、地域住民の通勤・通学の重要な脚であるとともに、エリア内の瑞龍寺・前田利長墓所・おとぎの森公園・スポーツコアといった観光交流施設</p>	<p>【区幹事業】 道路(下伏間江福田線整備)、道路(下黒田下島線整備)、道路(開町京田線(瑞龍寺参道)整備)、道路(南部112号線) 地域生活基盤施設(施設案内板整備) 高質空間形成施設(バリアフリー対応公衆トイレ整備(戸出駅前))</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業(歴史と出会い事業)、地域創造支援事業(高岡メッセ)、地域創造支援事業(前田利長墓所水濺浄化)</p> <p>【関連事業】 城端・水見線活性化推進協議会</p>
<p>その他 高岡市南部地域活性化推進協議会 高岡南部地域における都市発展策について研究、討議することによって新しい街づくりについて具体的に行動推進し、以って地域経済・社会の総合的な振興発展に資することを目的とした団体であり、地域の活性化を推進する為に必要な会議、調査研究、情報収集、講演会・セミナー等の実施や街づくりのための意見活動と関係機関に対する陳情、請願等を行っている。</p> <p>城端・水見線活性化推進協議会 城端線、水見線の利用促進を図るため、沿線4市で構成している。協議会には、調査研究部会と観光宣伝部会があり、主に次のような活動を行っている。 1 調査啓発事業 ポケット時刻表の作成 配布 ノーマイカーデーの推進 啓発パンフレットの配布 4)美化運動の推進 2 観光宣伝事業 出向宣伝 観光PR事業及びイメージアップ事業の開催 5)鉄道少年団育成事業 3)イベント事業 城端線、水見線を使ったイベントの企画運営</p>	

交付対象事業費	5,941	第5におけるAの値をおきかえて第5により算出された額(X1)	2,377	交付限度額(左記のうちいずれか少ない額)	2,377
2次補正執行額	1	交付要綱第5の交付限度額に補正予算執行額を加えた額(X2)	2,377	国費率	0.4

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
(平成20年度補正予算(第2号)関連)地域における防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当する事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体交付期間内		うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費			
地域生活基盤施設		防災広場	高岡市	直	A=950㎡	H20	H20	H20	H20	19.2	19.2	19.2		19.0
														0
														0
														0
														0
合計										19	19	19		19.0
基幹事業のうち、上記に該当しない事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体交付期間内		うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費			
道路	街路	都 新駅南通り線	高岡市	直	L=350m W=20m	H20	H24	H20	H24	742.0	742.0	742.0		742.0
道路	街路	都)下黒田線	高岡市	直	L=90m W=16m	H20	H24	H20	H24	155.0	155.0	155.0		155.0
道路	街路	都)下伏間江福田線	高岡市	直	L=730m W=25m	H20	H24	H20	H24	1,700.0	1,700.0	1,700.0		1,700.0
道路	街路	都)下関京田二塚線	高岡市	直	L=240m W=27m	H20	H24	H20	H24	430.0	430.0	430.0		430.0
道路	地方道	下黒田13号線	高岡市	直	L=380m W=16m	H20	H24	H20	H24	648.0	648.0	648.0		648.0
道路	地方道	下黒田16号線	高岡市	直	L=210m W=11.5m	H22	H24	H22	H24	186.0	186.0	186.0		186.0
道路	地方道	下黒田下島線	高岡市	直	L=470m W=16m	H20	H24	H20	H24	442.0	442.0	442.0		442.0
道路	地方道	南部112号線	高岡市	直	L=180m W=16m	H20	H24	H20	H24	147.0	147.0	147.0		147.0
道路	地方道	関町京田線(瑞龍寺参道)	高岡市	直	L=1500m	H21	H24	H21	H24	180.0	180.0	180.0		180.0
道路	地方道	下黒田9号線	高岡市	直	L=490m W=6 9.5m	H20	H24	H20	H24	107.0	107.0	107.0		107.0
道路	地方道	下黒田10号線	高岡市	直	L=380m W=6m	H20	H20	H20	H20	10.0	10.0	10.0		10.0
道路	地方道	下黒田12号線	高岡市	直	L=250m W=6m	H21	H21	H21	H21	30.0	30.0	30.0		30.0
道路	地方道	南部31号線	高岡市	直	L=40m W=15m	H20	H20	H20	H20	6.2	6.2	6.2		6.2
道路	地方道	南北歩行者通路	高岡市	直	L=26m W=10m	H21	H24	H21	H24	4.0	4.0	4.0		4.0
公園		やすらぎ親水公園	高岡市	直	A=6,200㎡	H20	H24	H20	H24	657.0	657.0	657.0		657.0
公園		せせらぎ緑道	高岡市	直	A=2,500㎡	H23	H24	H23	H24	266.0	266.0	266.0		266.0
河川														0.0
下水道		排水路整備	高岡市	直	L=180m	H20	H21	H20	H21	54.0	54.0	54.0		54.0
下水道		排水路整備	高岡市	直	L=80m	H20	H20	H20	H20	12.8	12.8	12.8		12.8
駐車場有効利用システム		-			-									0.0
地域生活基盤施設		市営駐車場(北側)	高岡市	直	70台	H21	H24	H21	H24	178.0	44.5	44.5		44.5
地域生活基盤施設		-			-									0.0
地域生活基盤施設		施設案内板整備	高岡市	直	6箇所	H20	H24	H20	H24	2.3	2.3	2.3		2.3
高質空間形成施設		バリアフリー対応公衆トイレ整備	高岡市	直	1箇所	H20	H20	H20	H20	17.5	17.5	17.5		17.5
高次都市施設		-			-									0.0
既存建造物活用事業		-			-									0.0
土地区画整理事業														0.0
市街地再開発事業														0.0
住宅街区整備事業														0.0
地区再開発事業														0.0
バリアフリー環境整備促進事業														0.0
優良建築物等整備事業														0.0
住宅市街地総合整備事業														0.0
住宅市街地総合整備事業														0.0
住宅市街地総合整備事業														0.0
住宅市街地総合整備事業														0.0
街なみ環境整備事業														0.0
住宅地区改良事業等														0.0
都心共同住宅供給事業														0.0
公営住宅等整備														0.0
都市再生住宅等整備														0.0
防災街区整備事業														0.0
合計										5,975	5,841	5,841		5,841.0
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体交付期間内		うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費			
地域創造支援事業	歴史と出合い事業	京田地内	実行委員会	間		H21	H21	H21	H21	5.0	5.0	5.0		5.0
	高岡マツト事業	二塚地内	実行委員会	間		H21	H21	H21	H21	30.0	30.0	30.0		30.0
	前田利長墓所水浄化事業	大野地内	高岡市	直		H24	H24	H24	H24	3.0	3.0	3.0		3.0
	農業用水路整備事業	京田地内	高岡市	直	L=180m	H21	H22	H21	H22	40.0	40.0	40.0		40.0
	通学路安全確保事業	全域	高岡市	直	14箇所	H21	H22	H21	H22	3.0	3.0	3.0		3.0
事業活用調査		-			-									0.0
まちづくり活動推進事業		-			-									0.0
まちづくり活動推進事業		-			-									0.0
合計										81	81	81		81.0
													合計(A+B)	5,941.0

様式1-a】計画区域

新高岡駅 (仮称) 周辺地区 (富山県高岡市)

面積

520 ha

概要

JR高岡駅南側に位置し、新たな玄関口である北陸新幹線新高岡駅 (仮称) や瑞龍寺、前田墓所等の歴史文化遺産のほか、北陸新幹線と周辺地域を結ぶ公共交通機関となる城端線の沿線を含む地域



